



越後加茂川夏祭り 会場内の河原で水遊びをする子どもたち
(8月14日)

主な内容

- 新しい加茂市史の四巻目が刊行・発売 ②
- 第31回越後加茂川夏祭り…………… ③～⑤
- 歯の健康「歯周病対策」…………… ⑥
- 総体の結果…………… ⑥
- カメラスケッチ…………… ⑦
- 加茂の風土記「新町町屋敷取立て願い」 ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育施設を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



加茂市史



資料編4 考古



御家庭の宝物として、全巻揃えられてはいかがでしょうか。

好評発売中

資料編 1	古代・中世	A5判変型	345ページ	定価 2,500円
資料編 2	近世	A5判変型	983ページ	定価 3,500円
資料編 3	近現代	A5判変型	1,001ページ	定価 3,500円
資料編 4	考古	B5判変型	783ページ	定価 3,500円

今後の刊行予定

資料編 5	民俗	A5判変型	約 1,100ページ
資料編 6	文化財	B5判変型	約 750ページ
通史編上巻		A5判変型	約 800ページ
通史編下巻		A5判変型	約 800ページ
地域の歴史編		A5判変型	約 800ページ

販売場所 加茂市役所社会教育課・市民課、市民サービスセンター（上町）
 市内各コミュニティセンター、図書館、民俗資料館、公民館
 みやげものセンター、加茂美人の湯、冬鳥越スキーガーデン
 問い合わせ 加茂市役所社会教育課（☎52-0080 内線 480）

第31回



今年も大人気だったウキウキ桃釣り大会

八月十四日の風物詩として親しまれている越後加茂川夏祭りは、晴天の下に開催されました。今年が十四日が日曜日ということで例年より会場を訪れる人も多く、大花火大会終了後、実行委員会から参観者数は約四万六千人と発表されました。

午後二時から始まるウキウキ桃釣り大会には、開始前から大勢の子どもたちが列をつくりました。晴天が続く、加茂川の流れもゆるやかでいつもより「桃が釣りやす



ミス雪椿の三人も大盆踊り大会に参加

い」と話していました。

この後イベントは、ユニボキャッチャー、ワクワク車deアート、縁日広場、かつごう加茂川夏祭り、加茂川コンサート、よさこいソーラン、灯ろう流しが行われました。ユニボキャッチャーでは、このお祭りでは工事現場で働くシヨベルカーを操縦できないと、子どもたちに大人気でした。かつごう加茂川は、県内から二十以上の団体が参加し、会場内からも御神輿の担ぎ手を加えながら、川の兩岸を練り歩きました。

午後四時十五分からの加茂川コンサートは三組のアイドルが登場しました。最初は「プリンシパ



越後加茂川夏祭り実行委員会
会長の小池清彦加茂市長



越後加茂川夏祭り実行委員会実行
委員長の太田明商工会議所会頭



ミス雪椿の藤田茜さん、南雲
さん、野俣さん

加茂松坂協会と
ザ・松坂の皆さんによる大盆踊り
のお囃子



思いっきり車
に描くワクワ
ク車deアート

縁日広場のスーパ
ーボールすくい



加茂川を流れる約500個の灯ろう



操縦する楽しさ満載のユンボキャッチャー

ル」、次に千葉県木更津のグルー
プ「シースタイル」、三組目に
「ケミカルリアクション」のス
テージにファンと会場のお客さん
がいっしょになって盛り上がりま
した。
夕暮れが近づく、よさこいソ
ーランの演舞、市内の保育園児・
幼稚園児のつくった約五百個の灯
ろうが加茂川をほのかに彩りまし
た。

夜の行事を前に、開会セレモニ
ーで越後加茂川夏祭り実行委員長
の太田明商工会議所会頭が「毎年、
このお祭りを楽しみに来てくださ
る皆さんに感謝いたします。今日
のお祭りを最後まで楽しんで夏の
思い出の一つにしてください。」
とあいさつしました。続いて、
越後加茂川夏祭り実行委員会会長
の小池清彦市長が「市民の皆様の
御協力に感謝申し上げます。この



大空に広がった二尺玉花火



越後加茂川夏祭り名物 2 km大ナイアガラ花火



会場内を練り歩くかつ
ごう加茂川の御神輿

会場でしか味わえない大盆踊りや二尺玉三連発、2km大ナイアガラ花火で楽しいひとときを過ごしてください。」とあいさつしました。

この後ステージには、加茂松坂協会とザ・松坂の皆さんが上がり、大盆踊り大会が始まりました。会場からの飛び入りも加わり、川の両岸がつながった大きな輪が、加茂松坂の唄に合わせて進みました。祭りの最後を飾る大花火大会は、



加茂川コンサートの
最初のステージは
「プリンシパル」

栄橋と諏訪橋間の噴水花火で始まり、若宮公園からの打ち上げ花火と二尺玉三連発、そしてファイナーレとして越後加茂川夏祭り名物、加茂川縦断2km大ナイアガラ花火です。目の前に流れ落ちる滝の流れに歓声が一段と大きくなりました。

晴天に恵まれた一日で「また来年」とあいさつを交わしながら、会場を後にする人たちで越後加茂川夏祭りの一日が終わりました。



千葉県木更津のアイドルグループ「C-スタイル」



「ケミカルトリアクション」のステージ



■歯周病対策のポイントは、
歯周ポケット。

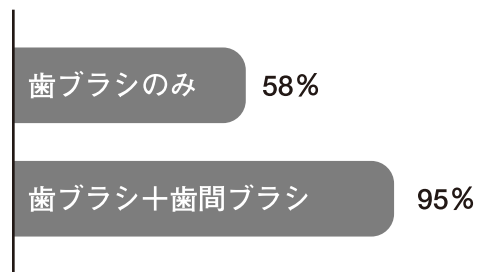
歯周病は、歯と歯ぐきのすき間「歯周ポケット」から進行します。歯周ポケットにはプラークがたまりやすく、みがき方にも工夫が必要です。歯ブラシの毛先を、歯と歯ぐきの境目に45度の角度で当て、細かく震わせるようにみがくようにしましょう。

■歯周病対策に適した歯ブラシを。

歯ブラシの毛先は、超極細毛のものが有効。プラークのたまりやすい歯周ポケットにも毛先が入りやすく、効果的にプラークの除去ができます。また、毛のかたさについて、「ふつう」は一般的なかたさで効率よくプラークを除去。「やわらかめ」は歯ぐきから出血がみられる人でも優しくみがけます。お口の状態に合わせて選びましょう。

歯周病対策

歯周ポケットと歯間部のケアで効果的に



毛先が届きにくい歯間部のプラーク除去率

■すき間の広い歯と歯の間の清掃には歯間ブラシを。

歯と歯の間は歯ブラシの毛先が届きにくく、歯周病の原因となるプラークが残りやすい場所です。そこが有効なのが、歯間ブラシです。

■歯間ブラシのプラーク除去効果。

歯ブラシの毛先が届きにくい歯と歯の間のプラークを取る効果を比べると、歯ブラシだけの場合と比べて歯間ブラシをあわせて使うことでプラーク除去率がアップするという研究報告があります。

■プラーク除去に、

様々なデンタル用品の活用を。

プラーク除去を効果的にしてくれ

総体結果



野球

期日 8月7・14日

会場 七谷野球場

▼中学生の部

優勝 葵中学校

準優勝 加茂中学校

▼壮年の部

優勝 赤谷

準優勝 A O I



バレーボール

期日 8月28日

会場 勤労者体育センター

▼小学生の部

①加茂JVC・A ②須田JVC男子

③須田JVC・A

るものには、歯間ブラシの他にデンタルフロスがあり、必要量をその都度切って使うロールタイプと、より手軽なホルダー付きがあります。より確かなプラーク除去のために、様々なデンタル用品を活用しましょう。

(加茂市歯科医師会)

▼家庭婦人の部
①あじさい②さわやかクラブ③もみじ



硬式テニス
(シングルス)

期日 8月28日

会場 庭球場(駒岡)

※男子、女子ともAクラスに含めて実施しました。

▼男子Aクラス①鈴木雄也(加茂ロ

ーン)②金子隼人(加茂フレンドリ

ー)③橋本国定(加茂フレンドリ

ー)、袴田敏尚(加茂ローン)

▼女子Aクラス①小野塚星南(加茂

ジュニア)②中山佐和子(シティサ

ークル)

第13回加茂市長杯 学童野球大会

期日 8月20・21日

会場 七谷野球場

※大会には、市内と燕市・長岡市・南魚沼市・五泉市から8チームが出場しました。

優勝 五泉フェニックス(五泉市)

準優勝 希望ベースボールクラブ

(長岡市)

3位 塩沢ヤンチャーズ(南魚沼

市)、燕スワローズ(燕市)



看護科学生への戴帽式（8月25日）

加茂暁星高等学校看護科三年生の戴帽式が文化会館で行われました。

看護科は五年一贯の看護師養成課程で、一から三年生は高校普通教科と専門教科を、四・五年生は専攻科として実習など交え、看護師を目指します。この日、五十七名の生徒は、看護師の象徴であるナースキャップ（男子学生は白いハンカチーフ）を受け取り、ナイチンゲール像から手に持つろうそくに火を灯しました。

この夏から県立加茂病院改築工事が本格化しており、戴帽式に出席した皆さんの将来の活躍が期待されます。



第34回舞踊まつり（8月28日）

舞踊まつりでは、日本舞踊と民踊が演じられました。日本舞踊では、お祝いの席で舞われる「高砂」や、各地で伝えられる「越後獅子」、宮崎県の「いもがらぼくと」など十三の演目がありました。第二部の民踊では「佐渡おけさ」や歌や曲に合わせた踊りが演じられ、観客の皆さんもいっしょに楽しみました。



元禄三年の新町町屋敷取立て願

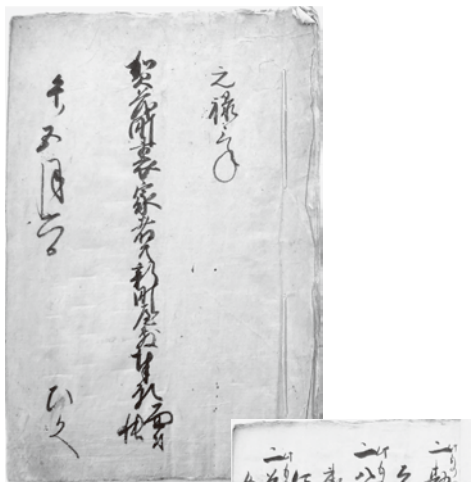
江戸時代の初め頃、加茂町にまだ本町から上町しがなく、上の十一軒町（五番町の一部）や下の穀町から横町（穀町・松坂町の一部）がなかった延宝七年（一六七九）、町の出入口として上・下の築地（木戸）が築かれた。築地はのちに木戸と呼ばれる施設のこと、町の出入口に設けて、加茂町の緊急の時は通行を閉ざした。上の築地は上町の上手に、下は本町の下手に作られた。

木戸の設けられた外側には人家はなく道筋が通るのみであったが、次第に近隣の村々から加茂町に移り住む者達が木戸の外側に移り住んできた。こうしたなか元禄三年（一六九

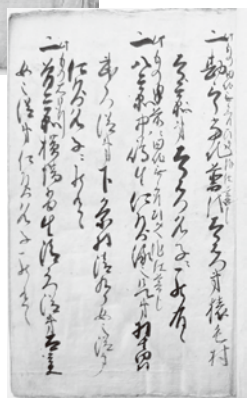
○）三月二十七日に加茂町の上町廣圓寺付近から起こった火災は加茂町の五十五軒を焼失した。この軒数の本町から上町のうちと木戸外の軒数の内訳は不明である。この再建のためこの年のうちに、上条村では上条新町ができ、加茂町では十一軒町ができた。

この町建てをきっかけに元禄三年五月、木戸外や町裏に住んでいた者達は新町の取立てを町に願った。願いが認められた者は三十七軒で、本町から上町の表通りに住む本百姓を請人とする名子三十軒と下条村や横場新田（田上町）・川船河村（同）・新飯田村（新潟市南区）

加茂の風土記



加茂町の裏家が新町（穀町・横町など）に出ることを認められた元禄三年五月の史料



柳川新田（三条市）など周辺村々出身の次・三男層の名子たち七軒で、合わせて三十七軒であった。『加茂市史資料編2近世』にも掲載の史料である。三十七軒のなかには願書提出時点で紺屋や大工・商いに就いている者もあつたが、ほとんどは表通りの本百姓の小作人となっていた。この願いにより、本町の下の木戸辺りから大昌寺門前までの、後に穀町・肴町・横町と呼ばれる町場が元禄五年に取立てられた。三十七軒は旧来の町場より間口が三間半（約六・三メートル）と狭くなったものの、町屋敷を割付けられ確定し移り住んでいった。これら表通りに移り住んだ者は、旧来の町場の本百姓と主に町裏に住んだ名子百姓との中間に位置する「新町家」という身分として増え、その後も町裏や近隣から町に移り住んで、江戸中期の宝永七年（一七一七）には八十九軒に増えた。これら表通りに移り住んだ人達はさまざまに商売に就き、住んだ町場名が穀町や肴町と言われるように、それまでなかった商いに就いたり、商売内容も拡大化していくなど、江戸時代の加茂町の発展の一翼を担っていた。

（関 正平）

人口のうごき

8月1日現在
 世帯 10,331 (+16)
 人口 28,436 (+5)
 男 13,780 (-6)
 女 14,656 (+11)
 ()内は前月比
 (7月異動分)
 出生 17 (男8女9)
 死亡 23 (男13女10)
 転出 30 転入 41